

# 言葉がけによるやる気の高まりの違い

## －個人競技と団体競技に着目して－

小野田安紗 (埼玉大学)

### 1. 目的

本研究では、個人と団体という競技特性の違いによるやる気の変化を比較検討し、指導現場におけるより効果的な言葉がけを明らかにする。更にその成果をもとに「体育授業の言葉がけガイドライン」の作成を試みることを目的とする。

### 2. 研究方法

- 1) 対象者：部活動やクラブチームの活動(サークル活動を除く)でのスポーツ経験者(165名)
- 2) 調査方法：設問1では矢澤(2016)が作成した項目を参考に、言葉がけに用いられる言葉69項に対するやる気の変化の度合いを、設問2ではスランプに陥った際誰からの言葉がけで立ち直ることができたかのアンケート調査を実施した。
- 3) 分析方法：設問1は「とてもやる気が高まる」を4点、「やややる気が高まる」を3点、「やややる気が下がる」を2点、「とてもやる気が下がる」を1点とし、競技×性別の2要因分散分析を行った。設問2は単純計算で群別にグラフ化した。

### 3. 結果と考察

- 1) 平均値の比較：設定した6種の群に関わらず、選手を褒めるような言葉は平均値が高く、否定するような言葉は平均値が低かった。各言葉についてやる気が高まる言葉、やる気の下がる言葉という捉え方には群による違いがほとんどないが、やる気が出る言葉の順位は異なる結果となった。
- 2) 性別による比較：有意差がみられた言葉について、男性より女性の方がやる気が高まると捉える言葉では平均値が高く、やる気が下がると捉える言葉では平均値が低いという結果より、女性は褒められることでやる気が高まりやすいことが示唆される。
- 3) 競技特性による比較：「お前が頑張らないと他

の人はついてこないぞ」、「チームが勝つためにはお前の力が必要だ」という言葉が大きな差で団体競技群の方がより平均値が高かった。この結果より団体競技者の方が全体のことを考える傾向にあると考えられる。

4) 競技×性別による比較：団体競技女性、個人競技男性はやる気の高まりが大きく、やる気の下がり方が小さいが、個人競技女性はやる気の高まりが小さく、やる気の下がり方が大きい。以上より前者は言葉がけでやる気を高めやすいが、後者に対してはかける言葉に十分な配慮が必要である。

5) 誰からの言葉がけで立ち直ることができたか：個人競技者と団体競技者共に、指導者よりも練習を共にする仲間からの言葉がけにより立ち直る割合が高いという結果がみられた。

競技による有意差がみられた言葉がけの例

	個人競技	団体競技
お前が頑張らないと他の人はついてこないぞ	2.5600点	<3.0111点
つよくなった	3.5876点	>3.3444点

### 4. 結論

本研究の結果より、指導者は肯定的な言葉を積極的に用いるべきだということ、競技だけでなく性別でも言葉がけに対してやる気の変化に有意な差がみられるものが存在することが明らかになった。また仲間同士での言葉がけが活発に行われるような環境を整えることが有効だと示唆された。

### 5. 主な参考文献

矢澤久史, 指導者からの言葉がけが高校生スポーツ選手のやる気に及ぼす影響, 2016

